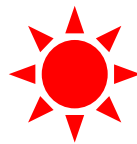


へたかた瓦版



八鶴湖でお月見& キャンドルナイトを楽しもう

9月30日は「中秋の名月」

東金の秋の恒例行事・八鶴湖の観月会が9月30日(日)と10月27日(土)に開催されます。

9月30日は十五夜「中秋の名月」。この日、八鶴湖畔は日没とともに約5000本のキャンドルの灯火につつまれます。浅葱に染まってゆく空に銀色の満月がのぼり、その姿を八鶴湖の湖面が映し出す頃には、秋風によりそのようなフルートの音色が聴こえてくるはず…。

キャンドルの灯りをたどって湖周を散歩するのも楽しいし、お寺の石段をのぼって上から湖面を眺めるのもまた、一興です。秋の夜をゆっくり静かに味わってみませんか？

10月27日には「後の名月」も

お月見の風習は中国から伝わったといわれますが、十五夜と十三夜の二回お月見をするのは日本だけ。どちらか一回だけで済ませるのは「かたみ月」といってよくないそうなので、十三夜のお月見にも出かけましょうね。この日のイベント内容はまだ決まっていませんが、肌寒くなる季節なので、屋内でのコンサートを予定しています。くわしくは下記までお問い合わせください。

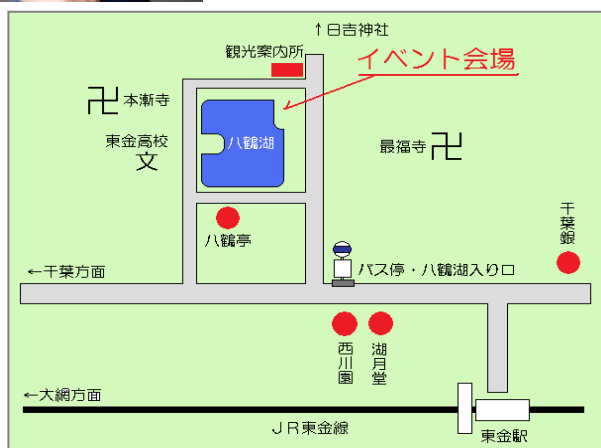
問 東金市観光協会事務局
TEL0475-50-1142



写真上
約5000本のキャンドルで縁どられた夜の八鶴湖。東の空には雲間から月がのぞく



写真左
フルートコンサートの演奏者は山野雅美さん(武蔵野音大卒)開演は18時30分を予定
入場料500円(お土産つき)



予 定	17:00~	YASSA Comachi Super7 LIVE
	18:00~	湖畔のキャンドル点灯
	18:30~	フルートコンサート (第一部)
	19:30~	フルートコンサート (第二部)

9月18日(火)

東金に新たな神話が生まれる!?

山王台に「東方伝説発祥の碑」建立

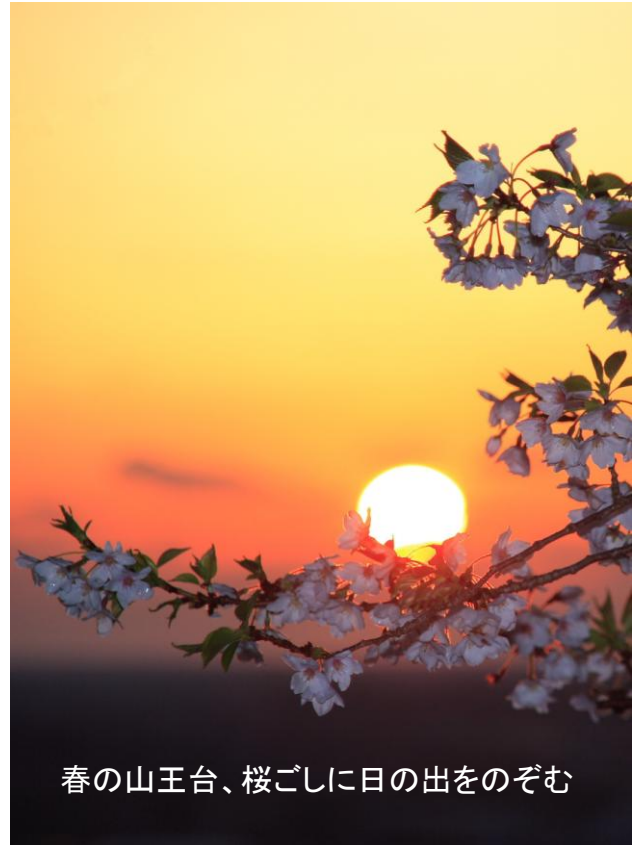
東金市は、中世頃までは「辺田方＝へたかた」と呼ばれていました。「へた」も「かた」も、端っことか、隅っことかという意味です。九十九里平野がまだ荒波に洗われる海だった頃、北総台地の東端に人々が暮らし始め、集落をつくりました。大和朝廷がようやくこの地方まで勢力を及ぼしてきた頃になって、「へたかた」という地名がついたのだと思われます。当時の日本という国にとって、東の果てだったわけです。

でも、東の果てということつまり、日本でいちばん最初に朝が来るところ、ということ。

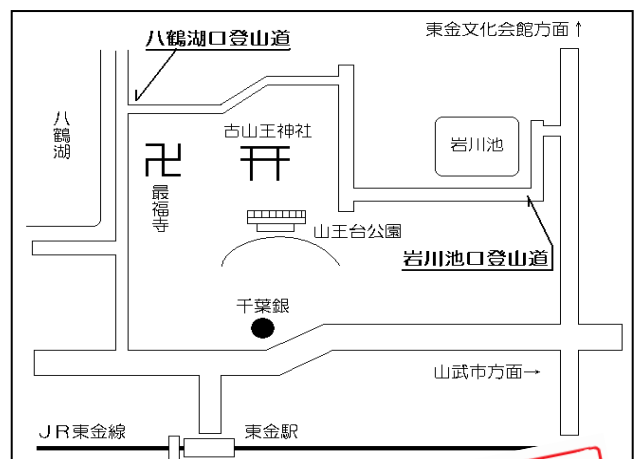
そこで私たちは、東金こそまさに、「日出づる処」だと宣言することにしました。このついでに(?)、「東方伝説」の起こりもここだということにしちやいました。

そんなわけで、9月18日(火)、九十九里平野の真ん中にある展望広場＝山王台公園において、「東方伝説発祥の碑」の建立記念式典を開催します。八鶴湖からでも、岩川池からでも、約60mの標高差をかせぐウォーキングコースを歩いて山王台公園に上ると、記念のスタンプと甘酒のサービスを予定しています。オヒマな方も忙しい方もぜひ、この記念碑の除幕式に御参列ください。

★東京から東金(八鶴湖入り口)までは高速バスシーサイドライナーが便利です
(東京駅八重洲口から所要時間約70分、片道1500円)



春の山王台、桜ごしに日の出をのぞむ



★式典は9.18(火)

14:00～15:00

記念スタンプ、甘酒サービス

